

科目名	空港実務ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	河野 浩一		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	エアラインのグループ企業にて、グランドハンドリング業務に従事		
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	前期の内容の復習も兼ね、引き続き空港地上支援業務従事者としてグランドハンドリング業務に於いての知識を深め、その定着を図る。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				目標		
	○	○	○	○	航空機DOORの操作と注意ポイントを理解し、手順を実施できる		
	○				航空機のシステムを理解し、ブレーキマンとしての手順を実施できる		
	○				搭降載の規定を理解し、作業のポイントを説明できる		
					制限区域内の車両運転ができるよう、規定を説明できる。		
テキスト・教材 参考図書	「航空機のグランドハンドリング」日本航空技術協会出版 パワーポイントなど各プリント資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	航空機DOOR操作要領(1)					
	2	航空機DOOR操作要領(2)					
	3	航空機DOOR操作要領(3)			授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)		
	4	TOWING作業全般					
	5	BREAK作業 ELEC SYS			授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)		
	6	BREAK作業 HYD SYS			授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)		
	7	BREAK作業 パネルでの操作確認 実技口頭質問			授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)		
	8	空港規則(制限区域内の車両安全)			授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)		
	9	空港規則(制限区域内の車両安全) 理解度テスト					
	10	CARGO LOADING MANUAL(1)					
	11	CARGO LOADING MANUAL(2)					
	12	CARGO LOADING MANUAL(3)					
	13	CARGO LOADING MANUAL(4)			授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)		
	14	CARGO LOADING MANUAL(5)			授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)		
15	後期の振り返り 理解度テスト						
評価方法	(1)定期試験の実施 (2)授業の中で理解度テストを実施 (3)授業中での実技および口頭質問以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○				70%
	理解度テスト(筆記/2回)	○	◎				20%
	実技及び口頭質問	○	◎	○	○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	フィジカルトレーニングB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2020年	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	前期に引き続き、就業現場での業務上の基盤となる基礎体力の向上と維持及び社会におけるコミュニケーションツールとしてのスポーツを学び、行動力と協調性を養う。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
			○			効果的な身体トレーニングを学ぶ	
			○			基本的な運動を行うことができる	
			○			運動を通してコミュニケーションやチームワークを身に付ける	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	運動習慣の効果の学習と理解					
	2	体力の向上と維持 ～ジョギングとそれによる運動効果～					
	3	体力の向上と維持 ～ウォーキングとそれによる運動効果～					
	4	体力の向上と維持 ～バレーボールとそれによる運動効果～					
	5	体力の向上と維持 ～筋力トレーニングとそれによる運動効果～					
	6	体力の向上と維持 ～バレーボールとそれによる運動効果～					
	7	体力の向上と維持 ～ストレッチ運動とそれによる運動効果～					
	8	体力の向上と維持 ～バスケットボールとそれによる運動効果～					
	9	体力の向上と維持 ～筋力トレーニングとそれによる運動効果～					
	10	体力の向上と維持 ～バスケットボールとそれによる運動効果～					
	11	体力の向上と維持 ～フットサルとそれによる運動効果～					
	12	体力の向上と維持 ～ランニングとそれによる運動効果～					
	13	体力の向上と維持 ～フットサルとそれによる運動効果～					
	14	体力の向上と維持 ～バドミントンとそれによる運動効果～					
	15	体力の向上と維持 ～筋力トレーニングとそれによる運動効果～					
評価方法	(1)出席状況を意欲点として評価 (2)テスト(実技)を実施 以上を、以下の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				○		50%
	テスト(実技)				○		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	業界研究						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	2年間で学んだ専門教育を踏まえ、航空業界で活躍していく人材として各々が選んだテーマをもとに研究を行いパワーポイントの作成をし、プレゼンテーションを行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					グランドハンドリングの業務の詳細な説明ができる	
	○					航空業界の歴史について説明ができる	
	○					航空業界の歴史を踏まえ、今後の動向予想について話ができる	
	○					パワーポイントの作成をし、それを使い発表が出来る	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要・シラバス説明					
	2	研究テーマ決め					
	3	研究方法・内容について①					
	4	研究方法・内容について②					
	5	研究方法・内容について③					
	6	研究方法・内容について④					
	7	研究方法・内容について⑤					
	8	パワーポイント作成(1)					
	9	パワーポイント作成(2)					
	10	パワーポイント作成(3)					
	11	パワーポイント作成(4)					
	12	パワーポイント作成(5)					
	13	パワーポイント作成(6)					
	14	パワーポイント作成(7)					
	15	パワーポイント作成(8)					
	16	パワーポイント作成(9)					
	17	パワーポイント作成(10)					
	18	パワーポイント作成(11)					
	19	パワーポイント作成(12)					
	20	パワーポイント作成(13)					
	21	パワーポイント作成(14)					
	22	パワーポイント作成(15)					
	23	パワーポイント作成(16)					
	24	パワーポイント作成(17)					
	25	パワーポイント作成(18)					
	26	プレゼンテーション準備(1)					
	27	プレゼンテーション準備(2)					
	28	プレゼンテーション準備(3)					
	29	プレゼンテーション準備(4)					
	30	発表					
評価方法	(1)パワーポイント (2)発表 (3)出席状況を意欲点として評価 以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	パワーポイント	○	◎				10%
	発表	○			◎		80%
出席状況				○		10%	

<b>履修上の注意</b>	出席が20回に満たない場合は、不合格(D評価)とする。						

科目名	業界総合演習					
科目名(英)						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	河野 浩一	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	エアラインのグループ企業にて、グランドハンドリング業務に従事	
対象学科・学年	エアポート科2年					
授業概要	空港地上支援業務従事者としての意識を向上させ、企業が求める安全運航に対し高い意識と感性を備えた人材を養成する。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					安全、セキュリティの重要性を理解することができる
	○					現場で求められる人材に必要な業界知識と意識を身に付けることができる
	○	○		○		現場で活用できる資料の作成を行うことができる
	○	○				企業に必要なコンプライアンス・業績管理などを理解し考えることができる
テキスト・教材 参考図書	「航空機のグランドハンドリング」 日本航空技術協会出版 パワーポイントなど各プリント資料					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	企業のコンプライアンスについて(1)				
	2	企業のコンプライアンスについて(2)				企業理念を理解し、発表するための予習を行う(1時間)
	3	企業理念について (各自発表)				
	4	フィロソフィ				
	5	航空保安・BAGのセキュリティ(1)				
	6	航空保安・BAGのセキュリティ(2)				
	7	航空機の安全運航 LMの業務(1)				
	8	航空機の安全運航 LMの業務(2)				
	9	搭降載制限・危険物搭載(1)				
	10	搭降載制限・危険物搭載(2)				
	11	搭降載・危険物資料作成(1)				
	12	搭降載・危険物資料作成(2)				
	13	搭降載・危険物資料作成(3)				
	14	理解度テスト				
	15	NLLモバイル				
	16	高所作業車教育				
	17	定時性(品質) 5Sの取り組み				
	18	アメンバー経営(部門別採算制度)①				
	19	アメンバー経営(部門別採算制度)②				
	20	航空機の安全運航、重量管理、ウェイトアンドバランス				
	21	航空機の安全運航 過去のトラブル(1)				
	22	航空機の安全運航 過去のトラブル(2)				
	23	振り返り 理解度テスト				
	(1) 定期試験の実施 (2) 授業の中で理解度テストを実施 (3) 授業の中で課題(資料作成) 以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。					
	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合

評価方法	定期試験(筆記)	○	◎				60%
	理解度試験(2回)	◎	○				20%
	課題(資料作成)	○	◎		○		20%
履修上の注意	出席が15回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	Windows演習						
科目名(英)	Windows						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	講師未定		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	ビジネスの現場で必要とされるレポートや報告書を、Word・Excel・PPを活用して作成する。 作成時に制限時間を設けることで、ある一定の時間で書類作成ができるようにする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			10分間で400字以上の入力ができる	
		○				ビジネス文書の基本的な構成を組み立てることができる	
		○	○			Word・Excel・PPで必要な操作を行い、様々な書式のビジネス文書を作成することができる	
テキスト・教材 参考図書	ビジネス文書作成見本(プリント配布)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	スピード入力／ ビジネス文書(社内文書・社外文書)					
	2	スピード入力／ ビジネス文書(表作成)				入力練習(1時間)	
	3	スピード入力／ 複雑な表(Word編)				入力練習(1時間)	
	4	スピード入力／ 複雑な表(Excel編)				入力練習(1時間)	
	5	スピード入力／ 複雑な表(Excel編)				入力練習(1時間)	
	6	スピード入力／ Excel・Word連携①				入力練習(1時間)	
	7	スピード入力／ Excel・Word連携②				入力練習(1時間)	
	8	スピード入力／ Word応用(段組み)				入力練習(1時間)	
	9	スピード入力／ Word応用(旅程表)				入力練習(1時間)	
	10	スピード入力／Excel応用(カレンダー管理・シリアル値)				入力練習(1時間)	
	11	スピード入力／Word応用(申込書)				入力練習(1時間)	
	12	スピード入力／ Excel応用(グラフ活用)				入力練習(1時間)	
	13	スピード入力／ Excel応用(見積書作成)				入力練習(1時間)	
	14	スピード入力／ PP(図解とマスター)				入力練習(1時間)	
	15	スピード入力／ 最終課題				総復習(2時間)	
評価方法	*課題の印刷と提出(15回) 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題の印刷と提出(15回)		○	◎			100%
履修上の注意	作成したデータは毎回USBに保存をする。						

科目名	一般教養ⅡB								
科目名(英)									
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	講師未定				
実施年度	2020年	実施時期	後期	担当者実務経験					
対象学科・学年	エアポート科2年								
授業概要	社会人基礎力養成として、2年間の一般教養の授業の総まとめとして実施								
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標			
	○					主な国際機関について、その活動内容を理解し説明することができる			
	○					漢字検定2級程度の漢字の読み書きができる			
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる			
	○					四則演算と基礎的なSPI問題内に正確に解答することができる			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	科目概要・シラバス説明、第1回(国際機関とその活動、世界遺産)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)			
	2	第2回 英文空所補充、英・日ことわざ				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)			
	3	第3回 英文空所補充、SPI問題				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)			
	4	第4回 漢字の知識、名数、歴史				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)			
	5	第4回 英文空所補充、SPI問題				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)			
	6	第5回 漢字の知識、読解問題、経済				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)			
	7	第6回 漢字の知識、SPI問題、英文和訳				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)			
	8	試験							
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
15									
評価方法	(1)定期試験 (2)出席状況を意欲点として評価 (3)宿題・レポート 以上を、以下の観点・割合で評価委する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験(筆記)	○					80%		
	出席状況				○		10%		
	宿題・レポート(原稿用紙2枚以上/1回)	◎			○		10%		
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。								



科目名	実用英語ⅡB				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	講師未定
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアポート科2年				
授業概要	前期に引き続き、復習をベースにTOEIC400～500に必要な英語の基礎を学ぶ。基本的な文法の知識の確認を行うと共に、比較的簡単な長文の読解を目指す。音読練習も加えたリスニング練習を反復的に行うことで、資格試験のみならず、日常会話に必要な力も伸ばしていく。				
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	目標				
	○ 下記に記した文法事項について説明ができる				
	○ 長文を読み概要を掴むことができる				
	○ 対話文やアナウンスを聞いて概要を掴むことができる				
○ TOEICに必要な英単語を理解することが出来る					
テキスト・教材 参考図書	TOEIC TEST新形式精選模試リーディング・リスニング、TOEIC過去問 TOEIC L&Rテスト完全模試、TOEIC L&Rテスト総合模試				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	授業概要・シラバス説明、確認テスト			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	2	リスニング、リーディング(Part1, 5)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	3	リスニング、リーディング(Part1, 5)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	4	リスニング、リーディング(Part1, 5)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	5	リーディング、リスニング(Part2, 6)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	6	リーディング、リスニング(Part2, 6)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	7	リーディング、リスニング(Part2, 6)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	8	リスニング、リーディング(Part3, 4, 7)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	9	リスニング、リーディング(Part3, 4, 7)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	10	リスニング、リーディング(Part3, 4, 7)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	11	リスニング、リーディング(Part3, 4, 7)			復習テスト向けに復習を行う(1時間)
	12	復習テスト			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	13	リスニング、リーディング(Part1, 5)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	14	リスニング、リーディング(Part1, 5)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	15	リスニング、リーディング(Part1, 5)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	16	リーディング、リスニング(Part2, 6)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	17	リーディング、リスニング(Part2, 6)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	18	リーディング、リスニング(Part2, 6)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	19	リスニング、リーディング(Part3, 4, 7)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	20	リスニング、リーディング(Part3, 4, 7)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	21	リスニング、リーディング(Part3, 4, 7)			復習テスト向けに復習を行う(1時間)
	22	復習テスト			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	23	リスニング、リーディング(Part1, 5)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	24	リスニング、リーディング(Part1, 5)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	25	リーディング、リスニング(Part2, 6)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	26	リーディング、リスニング(Part2, 6)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
27	リスニング、リーディング(Part3, 4, 7)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	

	28	リスニング、リーディング(Part3, 4, 7)	単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)				
	29	リスニング、リーディング(Part3, 4, 7)	単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)				
	30	後期まとめ	正試験に向け復習を行う(1時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3)小テスト(単語テスト等)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト等	◎	○		○		10%
履修上の注意	電子辞書の持参。						

科目名	実用英語ⅡB				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	講師未定
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアポート科2年				
授業概要	前期に引き続き、復習をベースにTOEIC350~400に必要な英語の基礎を学ぶ。基本的な文法の知識の確認を行うと共に、比較的簡単な長文の読解を目指す。音読練習も加えたリスニング練習を反復的に行うことで、資格試験のみならず、日常会話に必要な力も伸ばしていく。				
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	目標				
	○				
	○				
	○				
	○				
テキスト・教材 参考図書	新TOEICメガ模試、TOEIC TEST新形式精選模試リーディング・リスニング				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	授業概要・シラバス説明			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	2	リスニング(Part1 人物動作)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	3	リーディング(Part5 時制)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	4	リスニング(Part1 物の位置の表現)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	5	リーディング(Part5 品詞)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	6	リスニング(Part2 疑問文)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	7	リーディング(Part5 代名詞)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	8	リスニング(Part2 様々な答え方)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	9	リーディング(Part5 接続詞)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	10	リスニング(Part3 ビジネス会話)			復習テスト向けに復習を行う(1時間)
	11	リーディング(Part5 イディオム)			復習テスト向けに復習を行う(1時間)
	12	復習テスト			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	13	リスニング(Part3 ビジネス会話)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	14	リーディング(Part7 広告・入力フォーム)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	15	リスニング(Part3 図表問題)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	16	リーディング(Part7 チャット)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	17	リスニング(Part4 アナウンス)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	18	リーディング(Part7 ビジネスレター)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	19	リスニング(Part4 図表問題)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)
	20	リーディング(Part7 Double/Triple Passage)			復習テスト向けに復習を行う(1時間)
	21	復習テスト			間違った問題をやり直す(0.5時間)
	22	TOEIC模試① Part1/2/7(Single)			間違った問題をやり直す(0.5時間)
	23	TOEIC模試① Part3/7(Double)			間違った問題をやり直す(0.5時間)
	24	TOEIC模試① Part4/5/6			間違った問題をやり直す(0.5時間)
	25	TOEIC模試② Part1/2/7(Single)			間違った問題をやり直す(0.5時間)
	26	TOEIC模試② Part3/7(Double)			間違った問題をやり直す(0.5時間)
27	TOEIC模試② Part4/5/6			間違った問題をやり直す(0.5時間)	

	28	TOEIC模試③ リーディング100問	間違った問題をやり直す(0.5時間)				
	29	TOEIC模試③ リスニング100問	正試験に向け復習を行う(1時間)				
	30	後期まとめ	正試験に向け復習を行う(1時間)				
評価方法	(1)定期試験 (2)単語テスト(9回) (3)復習テスト(2回) 以上を、以下の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		定期試験(筆記)	◎	○			50%
		単語テスト(筆記・9回)	○				10%
		復習テスト(筆記・2回)	◎	○			40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英会話						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	講師未定		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	1.Raise students' English proficiency 2.Give students more confidence in using English 3.Workplace related English skills						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					Raise students' English proficiency	
	○					Give students more confidence in using English	
	○					Workplace related English skills	
テキスト・教材 参考図書	Speakout Elementary Book 1						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Get to know your teacher					
	2	1.1 Nice to meet you				Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)	
	3	1.2 Travel Light				Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)	
	4	1.3 Can I have a coffee?				Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)	
	5	Teacher's Lesson or 1.4 Faulty Towers (needs TV/DVD)				Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)	
	6	1.5 Lookback/teacher's lesson				Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)	
	7	2.1 Join us				Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)	
	8	2.2 High Flyers				Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)	
	9	2.3 What time does it start?				Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)	
	10	Teacher's Lesson or 2.4 Chalet Girl (needs TV/DVD)				Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)	
	11	2.5 Lookback /Teacher's lesson				Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)	
	12	3.1 Just Good Friends				Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)	
	13	3.2 Big happy families				Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)	
	14	Review and practice for speaking test				Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)	
15	Speaking test						
評価方法	(1)Test (2)Class participation (3)Attendance The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	Test	◎	○		○		50%
	Class participation	◎	○		○		25%
	Attendance	◎	○		○		25%
履修上の注意	Students will not receive a grade if they miss more than 5 classes.						

科目名	社会教養ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	社会人としての基礎知識や自己管理能力の必要性を考える。また、ストレス管理や体力維持、集団行動をスポーツや実体験を通して学ぶ。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
			○			社会人として必要な自己管理ができる	
				○		集団行動を通して、リーダーシップを発揮することができる	
				○		ボランティア活動に積極的に取り組むことができる	
			○			スポーツ活動を行うことを通して、継続的に体力維持を行うことができる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学習指示	
	1	授業概要・シラバス説明、目標設定					
	2	ボランティア活動を体験することで、その意味を考える					
	3	自己管理の重要性について考える					
	4	体幹トレーニング①					
	5	航空業界で活躍する卒業生との交流会					
	6	体幹トレーニング②					
	7	ボランティア活動を体験することで、その意味を考える					
	8	体幹トレーニング③					
	9	航空業界で活躍する卒業生との交流会					
	10	体幹トレーニング④					
	11	航空業界で活躍する卒業生との交流会					
	12	ボランティア活動を体験することで、その意味を考える					
	13	出社前講習①(専門用語)					
	14	出社前講習②(各企業事前課題)					
15	出社前講習③(各企業事前課題)						
評価方法	(1)出席状況を意欲点として評価 (2)小テスト 以上を、下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				○		80%
	小テスト	○					20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、不合格とする。						

科目名	ビジネスマナー演習B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	榎本 美和子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	幅広い年齢層の方に好まれる接遇を復習しながら、ロールプレイングによりコミュニケーション・接遇のスキルを定着させ更なる向上を図る。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					幅広い年齢層に応じた会話ができる	
				○		また会いたいと思われる対応ができる	
				○		お客様対応時の言葉遣い・所作ができる	
		○				お客様の心理・要望を汲み取ろうとすることができる	
テキスト・教材 参考図書	「実践ビジネスマナー」 ウィネット						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要・シラバス説明					
	2	お客様お出迎え・ご案内					
	3	話の聞き方・話の仕方				様々な方と会話をする(1時間)	
	4	敬語演習				敬語の復習を行う(0.5時間)	
	5	物の受け渡しの仕方					
	6	話の仕方(応用編)					
	7	お茶・コーヒーの出し方				自分、または家族にお茶を入れてみよう(0.5時間)	
	8	各担当でのお客様対応					
	9	お客様をお見送りする作法					
	10	これまでの復習					
	11	電話のかけ方①				家庭やアルバイト先で積極的に電話に出よう(1時間)	
	12	電話のかけ方②				家庭やアルバイト先で積極的に電話に出よう(1時間)	
	13	様々な電話対応				家庭やアルバイト先で積極的に電話に出よう(1時間)	
	14	後期のまとめ①				苦手なところの見直し(0.5時間)	
15	後期のまとめ②				苦手なところの見直し(0.5時間)		
評価方法	(1)定期試験 (2)実技テスト(2回) 以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○				70%
	実技テスト			◎	○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						